

# Focus in 南島原 まちの話題

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



西有家小学校の児童の皆さん

## 1 未来を担う子どもたちのためにご寄附をいただきました

西有家町出身でこのほど逝去された医療法人南風会 浦上病院(南有馬町)の元理事、浦上洋子氏の遺志を受け、実弟で同病院の理事長である浦上裕彦氏から、5月11日、市に1千万円のご寄附をいただきました。

故 浦上洋子氏は福岡市で生活を送りながらも、常々ふるさとである西有家町のことを気にかけられておられました。

故郷が直面する人口減少および少子高齢化を憂い、「少しでも西有家町の子どもたち、ひいては南島原市の子どもたちのために役立てていただきたい」との思いから、寄附を託されました。

未来を担う子どもたちのために、活用させていただきます。



ヴィヴィクんと握手するベイガ船長

## 2 V・ファーレン長崎の試合で 本市サンクスマッチが開催

5月29日にV・ファーレン長崎のホームゲーム ファジアーノ岡山戦において、「南島原市・壱岐市サンクスマッチ」が開催されました。

V・ファーレン長崎の選手のバス到着時に、和道 深江太鼓の力強い演奏で選手を出迎えました。

キックオフ前には本市出身のDF江川湧清選手が南島原市をPRするコメントが紹介され、大野木場小学校(深江町)の児童が雲仙普賢岳噴火災害に関する学習発表を行いました。松本市長も「ご来場の皆さんに元気を与えるような素晴らしいプレーで白熱した好ゲームになることを期待しています」とあいさつし、試合では、西有家中学校サッカー部の生徒が試合に用いるボールの管理などを行うボールパーソンを、大野木場小学校の児童が市章の旗を持つフラッグベアラーを務めました。

ハーフタイムに行われた抽選会では、本市PR大使のベイガ船長がV・ファーレン長崎のヴィヴィくんとともに会場を盛り上げ、本市特産品の島原手延そうめんをプレゼントしました。

試合は惜しくも0対0の引き分けとなりましたが、スタジアム場外の市観光PRブースには多くのファン・サポーターが本市特産品を買い求めるなど、南島原市の魅力をPRした1日となりました。



学習発表行方大野木場小学校の児童



力強い演奏を披露する和道 深江太鼓



市観光ブースでPRする、ひまわり四郎くん



松本市長(中央)と有家史談会会員の皆さん

## 5 有家史談会が機関紙「嶽南風土記」を寄贈

5月26日、島原半島の歴史や民俗研究を行っている有家史談会(生駒輝彦会長)が、機関紙「嶽南風土記」を市へ寄贈されました。

この機関紙は、今回で29号の発刊となり、市内の各図書館で読むことができます。



田浦さんご夫婦

## 3 第24回葉たばこ振興協議会 優良農家表彰事業で県知事賞を受賞

「第24回葉たばこ振興協議会優良農家表彰事業」において、田浦達也さん・ひとみさん(深江町)が長崎県知事賞を受賞しました。

田浦さんは葉たばこを耕作して45年目となり、地域からの信頼も厚く、生産および面積の維持拡大にも積極的に取り組まれたことが評価され、今回の受賞となりました。

田浦さんは「たばこの値上げや健康志向による需要減などで、廃作する農家が増え大変厳しい状況にあるが、市の基幹産業である葉たばこの振興に寄与していきたい」と話しました。



左から川田さん、本村さん、栗原さん、松本教育長

## 4 九州地区スポーツ推進委員協議会 功労者表彰を受賞

5月18日、長年にわたり地域スポーツの普及推進に尽力された功績により、本市スポーツ推進委員の3人に九州地区スポーツ推進委員功労者表彰の伝達を行いました。

南島原市スポーツ推進委員会(川上弘昭会長)は、各支部(町)10名の委員で構成され、市民の皆さんへスポーツをする機会の提供や指導などの活動を行っています。

※19ページで市の推進委員を紹介しています。

### 【九州地区スポーツ推進委員功労者表彰】

- ・川田 とも子さん(深江町)
- ・本村 友香さん(南有馬町)
- ・栗原 雄一郎さん(加津佐町)

### レンズをのぞけば

アオハル #僕たちの青春

このコーナーは、市内高校生(口加高・島原翔南高)の視点から見た市の風景や出来事などをお届けするコラボ企画です。

絵本から飛び出したような有家町にあるツリーハウスにやってきました。

保有する『南島原しんきりこども園』の渡邊園長先生によると、大きな木を切ってしまうのはもったいなく園児の遊び場として作られたそうです。皆さんも見て楽しんでください。

安全上、普段は立ち入ることはできませんのでご注意ください。(翔南PCプラザズ)

こちらもチェック!

市Facebook 撮ってくれんね南島原 検索